

楽しかった佐渡自然教室 おけさの島で四泊五日

6月27日～7月1日



はじめて見る佐渡のすばらしさ！
どの顔もうれしそう！

ことしから、和納小学校で新しく「自然教室」が始まりました。これは、六年生になると行われる一泊二日の修学旅行に替えて、文部省が実施している「自然教室推進事業」の補助を受けて行われたものです。この「自然教室」とは、豊かな自然環境の中で集団宿泊生活を通して行われる総合的な教育活動で、和納小学校では、ことしから学校の正規の教育活動として年間の指導計画に位置付けるとともに、通常の学校生活では得ることのできない体験をしようということで行われました。そこで、今月号の特集では、この自然教室でどんな活動を体験してきたのかご紹介しましょう。

目の前に広がる日本海に浮かぶ佐渡ヶ島。間瀬海岸からはすぐ行けそうに見えて、なかなか行くことのできない佐渡を舞台に、四泊五日間もかけて行った——「自然教室の旅」。両泊航路に乗って、寺泊から赤泊へ、羽茂町から小木町を経て最初の宿泊地真野町をめざしました。

真野町の佐渡スポーツハウスと潮津の里に宿泊して、南佐渡を中心に小佐渡山脈や小木半島をめぐる探究活動を二日間。三日目は、相川町の技術伝承館や畑野町の集落環境改善センターで製織、無名異焼、竹細工などの創作活動。

それから佐渡国仲平野を両津湾にでて北上し、北端の地弾崎燈台を右にみて、二ツ亀のフィッシュアイズホテルに到着。

ここで大謀網を見学したり、賽の河原など自然探勝路の散歩、野外炊飯、海岸でのレクリエーションなど楽しくのんびり過して、夜は鬼太鼓や佐渡おけさ、岩室音頭などの民謡交流、最終日は外海府海岸を通過して尖閣湾へ、佐渡版画村博物館、佐渡金山見学を終えて大佐渡スカイラインを抜け両津港へ、帰りはジェットフォイルで越佐海峡の国道350号を通過して新潟に帰る四泊五日の研修旅行の旅。

『自然教室を実施して』



和納小学校
校長 青木昭平

新しい学校行事の試みとして、ことしから佐渡ヶ島を舞台に四泊五日間にわたる「自然教室」を行いました。昨年度は、その準備段階として五年生の際に集団宿泊訓練を中条町にある県少年自然の家で実施し、規律ある集団宿泊生活を通して教師や児童、児童相互の人間関係のふれあいを深める活動を行い、その活動の延長として、ことし四泊五日間の集団宿泊生活を体験しました。ところで、この自然教室のねらいはというと、
一、規律ある集団生活を通して、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自律的に生活する態度を育てる。
二、自然の中での生活や各種の活動を通して、自然と直接ふれあい、自然に対する理解を深める。
三、地域社会の生活や文化などに親しみ、これらへの理解を深める。
四、自然の中で、スポーツ活動や野外活動を通して、心身の健康の増進を図る。
などで、参加した児童たちは佐渡島内をくまなく探究し楽しんできました。

研修で得た貴重な体験

初めての四泊五日の研修旅行でいろいろなことを学びました。一ヶ月くらい前から佐渡について調べたことを実際に佐渡で見学することで、よく知ることができました。これから研修旅行で学んだことを生かして、いろいろなことにがんばりたいと思います。



田中千春さん
(和納小学校・6年生)

はじめて見る

佐渡に感激

ほくにとつて、はじめての佐渡でした。佐渡金山や大謀網、文弥人形の芝居などを見学しました。はじめて見るいろいろなものにとっても興味をもちました。夜は友だち同士でいろいろな話をしたりとても楽しく愉快に過ごしました。もつと楽しみたい佐渡でした。



錫田敏志くん
(和納小学校・6年生)

それでは、順を追って楽しかった活動の様子をご紹介します。

壮大な佐渡にびっくり

■第一日目(六月二十七日)

初めて船旅をする子が多く、ちよっぴり不安をいだきながらの出発。寺泊から赤泊までは二時間。予想に反してとても大きくみんなびっくりです。昼食はさつそく小木の城山公園、ゴルフ場のようにきれいな芝生の上で食べるお弁当は味もまた格別です。その後、華峰寺を見学し三時にスポーツセンターに到着。入所式では、はつらつとした和納小学校歌を佐渡の梅雨空に響かせました。そして、赤泊中学校の児玉先生から佐渡の楽しい民話を聞いた初日でした。



無名異焼にもチャレンジ

思い出に残る探究活動

■第二日目(六月二十八日)

この日は待ちにまつた探究活動の日、あいにくの雨模様でしたがみんな元気に出発。たらい舟、そば作り、砂金採りとそれぞれのコースに分かれ実のある探究活動を楽しみました。おまけにBSNテレビの取材なども受け、一生の思い出に残る一日でした。

伝統工芸にチャレンジ

■第三日目(六月二十九日)

三日目のきょうは創作活動の日。無名異焼、製織、竹細工とはじめての体験にみんな目を輝かせていました。指導にあたった先生も、児童たちの器用さに驚いていました。そしてお昼には佐和田町のシルバードレージで文弥人形芝居を鑑賞、九十歳になる濱田守太郎さんの白熱した演技にみんなびっくりしていました。

友情深めた交歓会

■第四日目(六月三十日)

ねむい目をこすりながら朝五時半に起床。勇ましい漁師の人たち

景勝地も十分に散策

■第五日目(七月一日)

いよいよ自然教室最後の日。名残惜しそうちにホテルを後にし、外海府のすばらしい景色を見ながら尖閣湾に到着、断崖絶壁から見下ろす景色もスリル満点。そして、海中透視船に乗ったり、版画村、金山などを見学して予定のコース

を終了、帰りは両津港から越佐海峡をジェットフォイルで新潟までの船旅は最高でした。

ことしはじめて実施した「自然教室」。四泊五日という長旅でしたが、みんな元気に帰ってきました。参加した児童は「本当に楽しかった」「また行ってみたいね」と嬉しそうに話していました。本当にみんな元気よく、笑い声も絶えなかった五日間、きっと児童たちには一生心に残る思い出となったことでしょう。

▼たらい舟を楽しむ子どもたち



奉納された地蔵様を見入る児童たち